

全建発第29～111号
平成29年 7月10日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石久和

印省略

第634回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等の自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction（建設現場の生産性向上）など、時代の要請に応えた施策の展開を図っていくことが重要となっており、国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第634回建設技術講習会では、維持管理・更新における今後の取り組み（メンテナンス技術者の育成・確保）、維持管理における新技術活用の取り組み、各分野（河川（ダム）、道路、下水道、住宅、港湾）における維持管理・修繕の最新の取り組み事例、公物管理を巡る紛争事例の動向とそれを踏まえた今後の留意点等について学ぶことを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久和
印省略

第634回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成29年9月20日(水)～22日(金)、金沢市において標記講習会を開催いたします。
この講習会では、維持管理・更新における今後の取り組み（メンテナンス技術者の育成・確保）、維持管理における新技術活用の取り組み、各分野（河川（ダム）、道路、下水道、住宅、港湾）における維持管理・修繕の最新の取り組み事例、公物管理を巡る紛争事例の動向とそれを踏まえた今後の留意点等について学ぶことを目的としています。

なお、本講習会は石川県・金沢市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
石川県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
石川県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※30歳未満の正会員及び地元割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,900円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「634」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成29年9月1日(金)必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成29年9月8日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成29年9月15日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は、「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS」の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：8.5単位/3単位、CPDS：8ユニット/4ユニット※現場研修は予定

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第634回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）日程

～社会資本の戦略的な維持管理・更新と公物管理を巡る紛争事例を学ぶ～

- ・維持管理・更新における今後の取り組みについて（メンテナンス技術者の育成・確保）
- ・維持管理における新技術活用の取り組みについて
- ・各分野（河川（ダム）、道路、下水道、住宅、港湾）における維持管理・修繕の最新の取り組み事例について
- ・公物管理を巡る紛争事例の動向とそれを踏まえた今後の留意点について

会場 …… 石川県文教会館（ホール）

〒920-0918 金沢市尾山町10-5 TEL076-231-2411(代)

(1日目) 開場11:40		平成29年9月20日(水)		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	石川県知事 金沢市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	谷本正憲 山野之義 秋山幸男	
13:00 }	インフラメンテナンスの時代について	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 事業総括調整官	鈴木学	
14:40 }	最近における公共事業紛争の判例と動向	扶桑共栄法律事務所 弁護士	細見孝二	
15:50 }	【地域事業の紹介①】 歴史文化資産を活かしたまちづくり	金沢市文化スポーツ局歴史都市推進課 担当課長補佐	木村和茂	
16:20 }	【地域事業の紹介②】 金沢城公園の整備について	石川県金沢城・兼六園管理事務所 所長	浜田哲郎	
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (17:45~19:15(予定))		JIM HALL TEL076-222-8079 (片町交差点 セブンイレブンのビルの7階)		
(2日目) 開場 9:00		9月21日(木)		(敬称略)
9:40 }	公営住宅における維持管理と更新について	国土交通省住宅局住宅総合整備課 企画専門官	谷山拓也	
10:50 }	港湾施設の維持管理に関する取り組みについて	国土交通省港湾局技術企画課港湾保全政策室 室長	藤田亨	
13:00 }	下水道事業におけるストックマネジメントについて	国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道事業課事業マネジメント推進室 室長	石井宏幸	
14:10 }	革新的河川管理プロジェクト ～河川管理・危機管理の高度化・効率化を目指す～	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川保全企画室 室長	齋藤博之	
15:20 }	道路の老朽化対策の取り組みについて	国土交通省道路局国道・防災課 道路保全企画室 企画専門官	森下博之	
16:20 }	閉会のあいさつ	石川県建設技術協会長 (石川県技監(土木担当))	松田洋一郎	
(3日目) 集合 7:50～		9月22日(金) 【現場研修】		

いしかわ四高記念公園横（旧中央公園横、香林坊アトリオ・大和裏）（8:20）出発

→ 北陸新幹線川北橋高架橋建設工事（下車説明）

→ いしかわ動物園トキふれあいセンター建設工事 [H28年度全建賞]（下車説明）

→ 歴史文化資産を活かしたまちづくり（主計町地区・東山地区）（下車説明） → 昼食（金沢市内）

→ 金沢城公園 第二期整備事業 [H28年度全建賞]（下車説明） → JR金沢駅（15:50）／小松空港（16:40）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD（継続教育）制度・CPDS認定プログラム 【聴講/現場】全建：8.5単位/3単位、CPDS：8ユニット/4ユニット ※現場は予定

第634回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 北陸新幹線川北橋高架橋建設工事

北陸新幹線は、東京・大阪間を結ぶ路線として、昭和48年に全国鉄道整備法に基づく国の整備計画が決定されています。平成9年に高崎・長野間が開業（東京・高崎間は上越新幹線と共用）し、平成27年3月には長野・金沢間が開業しました。金沢・敦賀間については、平成24年6月、国により着工が認可され、同年8月に着工されました。平成34年度末の完成・開業を目指し鋭意、工事を進めており、県内全区間が開通することにより、新幹線を核としたまちづくりが進むことが期待されます。

…………… 白山市末正・川北町橋



2. いしかわ動物園トキふれあいセンター建設工事 [H28年度全建賞] …………… 能美市徳山町

本州最後のトキの生息地である本県はトキにゆかりの深い県であり、国が鳥インフルエンザなどのリスク回避するため、分散飼育の方針を打ち出した際もいち早く受け入れを表明しました。以来、近縁種による訓練や繁殖ケージ等の整備を経て、平成22年1月から分散飼育を開始し、国のトキ保護増殖事業に貢献してきました。これらの経緯を踏まえ、公開のためのケージと観覧通路、学習施設を新たに建設しました。施設の整備にあたっては、平成26年に環境省が策定した「分散飼育地におけるトキの一般公開にあたっての諸条件及び手続きについて」を遵守し、設計及び工事を進めました。

なお、本事業はトキの飼育環境に配慮するとともに、来場者に対してもバリアフリーの配慮をしつつ、より自然に近い環境の様々な場面でのトキを観察できるように工夫されていることが評価され、平成28年度の全建賞を受賞しました。

エントランス
里山を連想させる古民家風エントランス



観覧ポイント1 「里山を飛翔するトキを見上げて観察」



観覧ポイント2
「餌をついばむトキを間近で観察」



観覧ポイント4
「止まり木で休むトキを野鳥観察全風の『のぞき窓』から間近で観察」



観覧ポイント3
「木に止まるトキを同じ日線で観察」



3. 歴史文化資産を活かしたまちづくり（主計町地区・東山地区）…………… 金沢市東山地区

金沢市は、加賀百万石の城下町として金沢城、特別名勝兼六園を中心に繁栄してきた文化都市です。また、非戦災都市であることから中心部には武家屋敷群、茶屋街などの歴史遺産が数多く残っており、城下町の面影を色濃く保っています。平成24年度までに4箇所が「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。こうした歴史遺産やまちなみを後世に継承するため、金沢市では半世紀前から景観の保全を目的に景観政策に力を注いでおり、そのひとつとして無電柱化を実施しています。

主計町地区は、浅野川に架かる浅野川大橋詰に位置し、明治期より茶屋街としてまちなみが整えられてきました。浅野川沿いは石張舗装等の修景整備とともに無電柱化が行われ、現在は、川沿いから1本裏通りに入った路地で、茶屋建築の街並みや「くらがり坂」「あかり坂」といった観光名所につながる狭隘な道路で、金沢市初の軒下配線方式による無電柱化を実施しました。従来の無電柱化は、架空線の全てを地下の管路に配線しますが、主計町地区においては、全ての管路を埋設するスペースが地中に無く、従来の方法では無電柱化を行うことが困難であったため、従来の地中化方式と軒下配線方式との併用による無電柱化の方法を採用しています。

東山地区は金沢城の北東、浅野川の北側に位置しており、茶屋街としての街並みや文化を今日に伝えています。この地区では、「東山ひがし」と「卯辰山麓」の2箇所が「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されており、江戸時代後期の地割りと茶屋様式の建造物群が今も色濃く残る全国的にも希少な茶屋街であることから、建物と調和のとれた修景整備を行い、歴史的な街並みの保存を図っています。

「東山ひがし地区」の中央に位置する旧二番丁通りでは、街並みの保存を図るため伝統的建造物の保存・修理等を実施してきており、道路（石張り舗装）の修景整備にあわせ無電柱化も行いました。また、茶屋街のエントランスである「卯辰山麓地区」の東山木町通りについては、北陸新幹線の金沢開業にあわせ、平成27年3月に地中化方式による無電柱化と修景整備を完了しました。これらのまちなみ景観整備等により、金沢を代表する歴史的な地区として訪れる観光客も年々増加しています。



東山ひがし地区



主計町地区

4. 金沢城公園 第二期整備事業 [H28年度全建賞]

…………… 金沢市丸の内

金沢城公園は、平成8年に大学跡地を県が取得し、本県の歴史、伝統文化を象徴するシンボル空間として、史実に沿った質の高い整備を進めています。平成7年度の事業着手以来、菱櫓等の復元整備、公園の基盤整備等を行った10年間にわたる第一期整備に引き続き、平成18年度からは第二期整備に取り組み、平成22年には金沢城三御門のひとつ「河北門」の復元、「いもり堀」の水堀化が完成しました。平成27年3月には、城内で最も格式が高かったとされる「橋爪門（二の門・枳形）」の復元、石垣と一体となり高低差が20m以上にも及ぶ立体的な造形が特徴の「玉泉院丸庭園」を再現し、北陸新幹線の金沢開業に合わせて供用しました。

なお、本事業は県民参加による城づくりにより、地域の歴史的、文化的資産である金沢城跡の文化遺産としての価値を育むとともに、事業への理解向上が図られ県民運動として盛り上げが図られた。その結果、北陸新幹線開業効果と相まって入園者数が増加し、石川県を代表する観光拠点となり新たな魅力向上に貢献していることが高く評価され、平成28年度全建賞を受賞しました。



玉泉院丸庭園



橋爪門

第634回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には金沢市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成29年9月19日(火)、20日(水)、21日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
アパホテル金沢中央	金沢市片町1-5-24 Tel.076-235-2111	シングル	40名	8,000円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

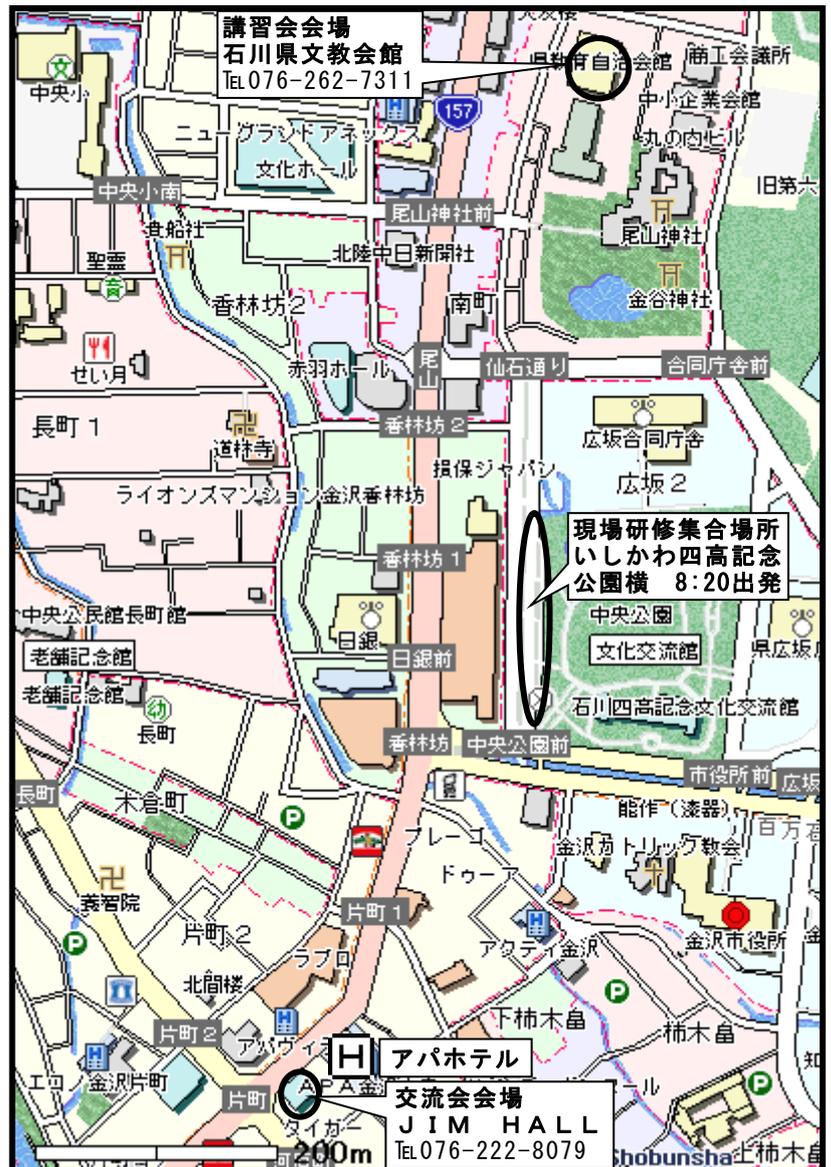
※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



詳細図



一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第634回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）申込書

＜個人情報取扱いについて＞
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会 員	正会員 30 歳未 満			予約日に○を 記入して下さい		
							9月 19日	20日	21日	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)						現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※	宿泊代金は、 ホテルチェックイン 時に全額お支払 いください。 禁煙・喫煙の希望 がある場合には、 “○禁”、“○喫”の ように記入してくだ さい。			
現場研修料 名×7,900円＝ 円										
計						円				

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、30歳未満の正会員及び地元割引価格で参加の場合、キャンセルはできません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

第634回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成29年9月20日(水) 17:45～19:15(予定)
(第634回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：「JIM HALL」(予定)

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
- ※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | | | |
|------------------------------|----|----|----|
| ・国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 事業総括調整官 | 鈴木 | 学 | 講師 |
| ・扶桑共栄法律事務所 弁護士 | 細見 | 孝二 | 講師 |
| ・国土交通省住宅局住宅総合整備課 企画専門官 | 谷山 | 和也 | 講師 |
| ・国土交通省港湾局技術企画課港湾保全政策室 室長 | 藤田 | 亨 | 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com